



バイエル薬品株式会社

〒530-0001
大阪市北区梅田 2-4-9
TEL 06-6133-7333
www.bayer.co.jp/byl

News Release

バイエル薬品、社長交代のお知らせ

大阪、2016年12月6日 — バイエル薬品株式会社 代表取締役社長 カーステン・ブルンは、2017年1月1日付でバイエル社の北中南米の医療用医薬品部門における米国代表に就任し、2017年4月1日までに医療用医薬品部門北中南米代表に就任することになりました。後任として、2017年1月1日付で現在バイエル薬品 循環器領域事業部長のハイケ・プリンツ (Mrs. Heike Prinz) が就任することが決定しています。プリンツは、2015年6月に現職に就任以来、力強いリーダーシップで循環器領域事業を成長に導いてきました。

プリンツ(1964年生まれ)は、ベルリン経済法科大学で経済学修士号を取得しました。1986年にシエーリング社(後にバイエルと統合)に入社後、医薬情報担当者の資格を取得し、ウイメンズヘルスケア領域におけるさまざまな分野を歴任。2009年にシンガポール・バイエルの医療用医薬品部門ウイメンズヘルスケアのアジア太平洋地域事業部長に就任しました。2011年にタイ・カンボジア・バイエル医療用医薬品部門代表を経て、2013年にドイツ本社の医療用医薬品部門責任者スタッフ室の室長を務めたのち、現職に至ります。

社長就任にあたり、プリンツは次のように述べています。「製薬業界のさまざまな課題を克服していくため、イノベーションや企業文化変革を引き続き最優先します。顧客の期待に応えるだけでなく、顧客の期待を上回るよう尽力していきます。そのために、研究開発型の製薬企業として、バイエルはよい位置にいると考えています」

バイエルについて

Bayer: Science For A Better Life

バイエルは、ヘルスケアと農業関連のライフサイエンス領域を中核事業とするグローバル企業です。「Science For A Better Life」というミッションのもと、バイエルはその製品とサービスを通じて、人々のクオリティ・オブ・ライフ(QOL)の向上に貢献すると同時に、技術革新、成長、およびより高い収益力を通して企業価値を創造することも目指しています。また、バイエルは、持続可能な発展に対して、そして良き企業市民として社会と倫理の双方で責任を果たすために、これからも努力を続けます。グループ全体の売上高は463億ユーロ、従業員数は117,000名(2015年)。設備投資額は26億ユーロ、研究開発費は43億ユーロです。この数字は、コベストロ社として株式市場に2015年10月6日に上場した高機能ポリマー材料の事業を含んでいます。詳細は www.bayer.com をご参照ください。

バイエル薬品株式会社について

バイエル薬品株式会社は本社を大阪に置き、医療用医薬品、コンシューマーヘルス、動物用薬品の各事業からなるヘルスケア企業です。医療用医薬品部門では、循環器領域、腫瘍・血液領域、ウイメンズヘルスケア領域、眼科領域、画像診断領域に注力しています。コンシューマーヘルス部門では解熱鎮痛薬「バイエルアスピリン」をはじめ、アレルギー性疾患治療剤や皮膚科領域に注力しています。動物用薬品事業部は、動物用医薬品の提供を中心にコンパニオンアニマルおよび畜産動物のヘルスケアに貢献しています。同社は、「Science For A Better Life」というミッションのもと、技術革新と革新的な製品によって、日本の患者さんの「満たされない願い」に応える先進医薬品企業を目指しています。詳細は www.byl.bayer.co.jp/ をご参照ください。

バイエル薬品株式会社

2016年12月6日、大阪

将来予想に関する記述 (Forward-Looking Statements)

このニュースリリースには、バイエルの経営陣による現在の試算および予測に基づく将来予想に関する記述 (Forward-Looking Statements) が含まれています。さまざまな既知・未知のリスク、不確実性、その他の要因により、将来の実績、財務状況、企業の動向または業績と、当文書における予測との間に大きな相違が生じることがあります。これらの要因には、当社の Web サイト上 (www.bayer.com) に公開されている報告書に説明されているものが含まれます。当社は、これらの将来予想に関する記述を更新し、将来の出来事または情勢に適合させる責任を負いません。